

学んで行動する議会へ

総務常任委員会

〔調査日〕

平成31年1月24日

〔調査対象〕

遠野ローカルベンチャー事業と地域おこし協力隊の現状について

〔参加議員〕

総務常任委員会

- 瀧本 孝一
- 小林 立栄
- 佐々木 恵美子
- 菊池 由紀夫
- 佐々木 大三郎



本事業は、総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、遠野ならではの資源などを活用することを目的に人材を誘致し、地域の活性化につなげようとする取り組み。

第1部は、所管する六次産業室の担当者から内容を確認した。事業1期目の協力隊は、本年9月に3年間の任期を終える。自立を目指し、隊員が主体的に活動できているか、地域との関わりに

課題がないか等、現状や課題を調査した。委員からは、今後の協力隊員の動向やネットワークの役割、本事業成果等の具体的な目標値などの質問がよせられた。

第2部は、場所を一日市通りのコモンスカフェに移し、地域おこし協力隊をコーディネートするネットワークと地域おこし協力隊員と意見交換をおこなった。

協力隊の皆さんの、遠野での困りごととして、「住まいの確保」が挙げられた。移住者を呼び込むためには、空き家を活用した住まいの確保が急務と提言された。また、移住者として知らない土地でゼロから始める苦労や大変さが大きいことから、ネットワークを生かす、臨床心理士やカウ

ンセラーとオンラインで相談できる仕組みを構築して隊員をサポートしているとのこと。

任んでみての遠野のイメージについては、「景色が良い」「文化や郷土芸能などが豊かな土壌のもとでいろいろな方がチャレンジされているという印象」や「親切な方が多い」「受け入れてくれる土地」などが挙げられた。

ネットワークは、移住定住の人事部としての役割を担い、遠野の魅力を発信し、地域おこし協力隊員を募集している。隊員をコーディネートしながら自立に向けた主体的な活動を支援していた。

今年にはローカルベンチャー事業の成果や検証を分析する1年といえる。全国展開しているネットワークを強みに、遠野ならではの事業の展開を期待したい。

市政調査会

〔調査日〕

平成31年1月25日

〔参加議員〕

16名



現場第一で。売却予定地を現地調査。

誘致企業への売却予定地において、地元住民の生活への影響、安心安全面から問題点がないか調査した。

周囲には6m道路が整備されることから、今後の利便性が期待された。

その後、台風10号による被害のあった小鳥瀬川の復旧状況を調査した。さらに、国道340号立丸峠トンネルの現地調査を行った。

道路の幅員も広くなり、非常に快適であった。

今後の人や物の交流が期待される。

議員有志

宮城県丸森町・東松島市を視察

〔視察日〕

平成31年1月31日

2月1日

〔参加議員〕

- 佐々木 恵美子
- 菊池 浩士
- 佐々木 敦緒
- 小林 立栄
- 菊池 美也
- 荒川 栄悦
- 佐々木 大三郎
- 浅沼 幸雄



アグリードなるせの安部代表取締役と

筆甫地区の住民自治組織に学ぶ

福島県との県境、宮城県丸森町は平成13年から特色を活かした地区別計画を策定し、平成19年8地区の住民自治組織を設立。なかでも筆甫地区は人口約570人で高齢化率51.2%と過疎化が進む中、まちづくりセンターを拠点に、仕事づくり、人づくり、「今、ここで暮らす住民のしあわせ」に寄り添う事業を実践。

財源は、ガソリンスタンド等の自主事業の他、町からの指定管理料、交付金、委託料など。

郷土の食材の六次産業化は、住民のやりがい、生きがいをも創り出している。

農地を守り、地域と共に発展する経営体(有)アグリードなるせ

東日本大震災の津波被害から復興に向けた地域づくりを目指している東松島市野蒜地区。平成の早期より集落営農組織、農地集積、圃場整備に取り組み法人化を実現。これらが被災後の営農再開に功を奏した。

現在も被災した全農地を引き受け規模拡大をすすめている。事業内容は、農地の維持管理のほか、離散した住民とのコミュニティづくり、六次産業、小中学生の食育、介護事業への参入で、通年雇用の仕組みや農業だけに留まらない新たな雇用を創出している。

今後もスマート農業や地域が持続できる取り組みなどを計画。攻めの姿勢を感じる経営体であった。

市民の声



このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介いたします。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

時々議会だよりの中身をゆっくりと見させていただいておりますが、市政に対する議員の方々の熱い想いが伝わってきます。これからも市民の意見を代弁していただけるようよろしくお願い致します。(早瀬町、50歳、女性)

「市議会って何だろう」のコーナーがわかりやすく説明されていて、関心をもって読むことができました。(青笹町、62歳、女性)

市を代表してのお仕事ご苦労様です。「市議会って何だろう」分かっているようで分からないものですが、とても関心を持つことが出来ました。まして年を取るとむずかしい事が嫌になりました。心のホッとするクイズがあってすみずみ読ませてもらえ楽しいです。特に病気がかりになぐさめられました。(小友町、80歳、女性)

遠野に嫁いで3年…子育てと医療に多少不便を感じていた1年目と比べると医療費の補助等良くなって助かっています。人口が少ない分横のつながりや地域のつながりが濃いところが議会に強く反映されているのでは。今後も遠野らしい議会を続けてほしいです。(松崎町、29歳、女性)